



↑「1+1は～？」という呼びかけに「SAM（サム）の3！」と応えてくれたノリの良いお客さんと、快く記念写真の撮影に応じてくれたSAMさん



6月4日「人生100年時代」ジェロントロジー講演会を開催し、市在住または在勤の方272名が参加しました。ジェロントロジストである講師のSAM(TRF)さんから「SAMと踊って学ぶジェロントロジー」と題した講演があり、ジェロントロジーを学ぶ目的をはじめとし、食事、睡眠、運動、コミュニティの重要性について学びました。講演では、健康長寿の人が多く暮らすエリアで共通してみられる9つの生活習慣として、食事のポイントや人との繋がりを大切にすることなどの紹介があり、その中でもSAMさんが特に重要と考えられている運動の実践として、座ったままできるストレッチ

やダンスを行い、盛り上がりを見せました。

市では今回テーマとなった「ジェロントロジー」に基づき、市民の皆様方が「100歳人生」を美しく、健康に、そしてポジティブに生きられるよう、各種施策を進めてまいります。

※ジェロントロジー：「高齢化社会学」などと訳され、加齢に伴う様々な課題を解決するために、心理学、医学、社会学などを幅広く学ぶ学問。



『いつまでも動ける。』 SAM

ダンサー、ダンスクリエイター、そしてジェロントロジストであるSAMさんの著書。「60歳のいまが一番、心も体も自分史上最高」とおっしゃるSAMさん。その鍵となるジェロントロジー、そしてSAMさんが夢中になってこられたダンスの2つを通して、いつまでも動き続けるためのヒントが得られる1冊です。

©SAM/ クロスメディア・パブリッシング



## 体験型教育旅行受け入れを実施しました



令和5年度体験型教育旅行の受け入れを行いました。生徒は、地元の人との交流、農業体験などを通して、貴重な思い出を作りました。

※体験型教育旅行…都市部の中学・高校生が地方での生活体験や交流等を行う修学旅行のこと

←6月8日に関西圏から中学生が訪れ、穴吹瀨名地区でこんにゃくの手作り体験を行いました。

じんけん

## ● 2023年度 美馬市人権教育指導者育成講座を開講します

参加希望の方は、7月28日(金)までに、地域学習推進課までお申込みください。

▶場所 穴吹農村環境改善センター 多目的ホール

	開催日	時間	演題 / 講師
第1回目	8月1日(火)	10:00～11:30	インターネットと人権 湯浅 真典さん(徳島県人権教育指導員)
第2回目	10月5日(木)	13:30～15:00	しわしわいかんで(人権コンサート) サーティグラスボーイズ
第3回目	12月1日(金)	13:30～15:00	カンボジアでの地雷除去の取り組み(仮) 高山 良二さん(国際地雷処理・地域復興支援の会 理事長)
第4回目	令和6年 2月2日(金)	10:00～11:30	身近な人権 小笠原 仁美さん(美馬市社会教育指導員)

## ● 人権講演会を開催します

「行列のできる相談所」などのテレビでおなじみの菊地幸夫弁護士を講師にお招きし、「身近な思いやり、その延長が人権」と題した講演会を開催します。

▶日時 8月27日(日)午後1時30分～

▶場所 地域交流センターミライズ 市民ホール

▶主催 美馬市人権教育推進協議会

▶申込方法 8月18日(金)までに、はがき、FAXまたはメールにより申し込んでください。  
※氏名・住所・連絡先を記載してください(複数名で申し込む場合は全員の氏名を記載)  
※先着500名



☎ 地域学習推進課 ☎ 52-8011

FAX 53-8890

✉ chiikigaku@mima.l-tokushima.jp

## 5/24 「元気に育って!」穴吹川で小学生が鮎の稚魚放流体験

穴吹川を守る会と美馬市商工会穴吹支部主催による鮎の稚魚放流体験と穴吹川清掃活動に、穴吹小学校5年生19名が参加しました。鮎の稚魚放流体験は、10年ぶりの実施です。

生徒たちは、穴吹川を守る会の活動や鮎の生態を学んだ後、勢いよくはねる稚魚をバケツに受け取り、川に放ちました。

【参加者の声】

あゆの生態を知ることができて良かった。今回放流した鮎にラッキーだったと思ってもらえるように、川をきれいに保つ行動をしていきたい。



## 5/28 吉野川水防演習

令和5年度吉野川総合水防演習が県立西部健康防災公園(三好市三野町)で行われ、多くの関係機関が参加しました。当日は、洪水発生時における災害対応能力の向上を目的とした様々な訓練が行われ、美馬市からは自主防災会のメンバーや消防団員など約80名が参加し、緊急的に対策を講じる「水防工法」を実施しました。



## 6/2 美馬市戦没者追悼式

美馬市戦没者追悼式が、地域交流センターミライズで4年ぶりに通常開催で行われました。

黙とうが続いて、加美市長が、「平和を実現するために、あの悲しみの歴史を二度と繰り返さないとの決意を新たにし、恒久平和の実現に向け、後生にしっかりと命の尊さ、平和の大切さを伝えていくことが、私たちに課せられた責務であるとの認識のもとにこれからも美馬市に生まれてよかった、これからも住み続けたいと思っただけのよう、一層の努力を続ける所存であります」と式辞、続いて、県知事代理のほか、来賓の方々が追悼の言葉を述べた後、参加者全員が戦没者2041柱の御霊に献花し、ご冥福をお祈りしました。

